

目 次

序章 どうしてエネルギー政策を学ぶのか	1
第 I 部 エネルギー概論 5	
第 1 章 エネルギーと経済社会	7
第 1 節 エネルギーの定義と分類 7	
第 2 節 エネルギーのサプライチェーン 9	
第 3 節 エネルギー供給 11	
第 4 節 エネルギー消費 14	
第 5 節 エネルギーフローとエネルギー損失 17	
第 6 節 日本のエネルギー需給 20	
第 2 章 多様なエネルギーとその特徴	27
第 1 節 石 炭 27	
第 2 節 石 油 30	
第 3 節 天然ガス 32	
第 4 節 原子力 36	
第 5 節 水 力 39	
第 6 節 その他の再生可能エネルギー 42	
第 7 節 水素エネルギー 49	
第 8 節 省エネルギー 51	
第 II 部 エネルギー政策理論 57	
第 3 章 エネルギー政策の基礎概念	59
第 1 節 公共政策とその要素 59	
第 2 節 政府の役割と市場の失敗 60	
第 3 節 公共財, 自然独占, 外部性 62	
第 4 節 エネルギー政策における 3E 65	

第5節	諸外国の3Eの状況	69
第6節	エネルギーミックスの考え方	74
第4章	エネルギー政策の枠組み	79
第1節	政策体系	79
第2節	政策の形式	81
第3節	エネルギー政策の分類	82
第4節	エネルギー関連法制	88
第5節	エネルギー対策特別会計	91
第6節	エネルギー関連税制	93
第5章	エネルギー政策の過程と主体	97
第1節	政策過程のサイクルと政策形成	97
第2節	政策の実施、評価、継続と革新	99
第3節	エネルギー政策過程の主体	102
第4節	資源エネルギー庁とその組織編制	106
第5節	エネルギー政策形成過程の特徴と類型	108
第Ⅲ部	エネルギー政策総論	113
第6章	世界と日本のエネルギー政策の変遷	115
第1節	イギリス発の産業革命と石炭	115
第2節	明治維新と富国強兵	117
第3節	日本の戦後復興と流体革命	118
第4節	石油危機と原子力開発	121
第5節	気候変動問題と自由化の時代	122
第7章	諸外国のエネルギー情勢とエネルギー政策	125
第1節	アメリカのエネルギー政策	126
第2節	イギリスのエネルギー政策	128
第3節	フランスのエネルギー政策	130
第4節	中国のエネルギー政策	132
第5節	ロシアのエネルギー政策	134

第Ⅳ部 エネルギー政策各論 137

第8章	石油危機からシェール革命へ	139
第1節	スタンダードオイルの分割と石油メジャー	139
第2節	資源ナショナリズムと石油危機	141
第3節	石油危機への日本の政策対応	143
第4節	アメリカにおけるシェールガスの開発	148
第5節	シェール革命の世界的影響	150
第9章	公益事業と電力自由化	155
第1節	公益事業と法定独占	155
第2節	日本の電気事業と9電力体制	158
第3節	電力自由化と競争政策	159
第4節	構造規制としての発送電分離とその類型	162
第5節	欧米の電力自由化の政策過程	165
第6節	日本の電力自由化の政策過程と電力システム改革	167
第10章	気候変動問題と環境・エネルギー政策	173
第1節	環境政策の手法と原則	173
第2節	気候変動問題と温室効果ガス	175
第3節	気候変動問題の世界的構図	178
第4節	省エネルギーとエネルギー効率の向上	179
第5節	低炭素化と再生可能エネルギー、原子力、CCS	183
第6節	気候変動枠組み条約とパリ協定	185
第7節	環境政策とエネルギー政策の融合	188
第11章	再生可能エネルギーとエネルギー転換	191
第1節	再生可能エネルギーと固定価格買取制度	191
第2節	再生可能エネルギーの世界的導入と日本の状況	196
第3節	風力・太陽光の出力変動問題	199
第4節	ドイツのエネルギー転換とグリーン成長	200
第5節	地域主導の分散型エネルギーシステムとエネルギー自治	205
第6節	日本におけるエネルギー自治へ向けた取り組み	209

第12章 福島第一原発事故と日本のエネルギー政策の展開……………	213
第1節 原子力開発における国策民営と電源三法	213
第2節 福島第一原発事故による電力危機	216
第3節 東京電力の事故責任と費用負担	218
第4節 福島第一原発事故の原因究明と「規制の虜」	221
第5節 原発の運転停止と燃料費の高騰	224
第6節 民主党政権下の革新的エネルギー・環境戦略	226
第7節 自民政権下のエネルギー基本計画2014	230
終章 エネルギー問題の行方, エネルギー政策の役割……………	235

コラム

1 エネルギーの単位……………	12
2 エネルギー関連の統計データ……………	23
3 都市ガスとLPガス……………	35
4 設備容量, 発電電力量, 設備利用率……………	40
5 排熱利用と熱電併給……………	45
6 市場の失敗と政府の失敗……………	64
7 再生可能エネルギー, 新エネルギー, 自然エネルギー……………	89
8 省エネルギー政策におけるトップランナー方式……………	145
9 メタンハイドレートの可能性……………	152
10 公益事業と公共事業……………	157
11 規制改革, 規制緩和, 規制撤廃, 再規制……………	164
12 デマンドレスポンスとスマートメーター……………	169
13 電力使用制限令と規制的手法……………	180
14 討論型世論調査……………	228

引用文献一覧 239

あとがき

索引